

## 重点戦略

## 2

## 若者・子育て世代の定住環境の創出

まちづくり宣言5 心豊かな「龍の子」を地域で育てるまちづくりを進めます。

## 1 現状認識

- ・健康な体を持ち、豊かな心と確かな学力を身につけた子ども達を育成するための教育環境の整備が求められています。
- ・本市では、いじめ問題の早期発見・早期対応に取り組むとともに、教育センターでの不登校児童・生徒の受け入れ、さわやか相談員<sup>\*1</sup>や教育相談員の配置など、児童・生徒、保護者のサポート体制の充実に努めてきました。
- ・少子化の進行に伴い、小中学校の児童・生徒数が減少しています。学校の適正規模適正配置の検討<sup>\*2</sup>など、将来的な視点に立った教育環境の整備が求められています。
- ・子ども達によりよい教育環境を作り出すために、地域や家庭との連携を深め、地域に開かれた学校づくりを進めていく必要があります。
- ・多様化する社会ニーズに対応するため、地域や企業など外部の人材を積極的に活用した幅広い教育が求められています。

## 2 宣言が目指すまちの姿

学校・家庭・地域の連携のもと、健康な体、豊かな心、確かな学力を身につけた児童・生徒が育っています。

## 3 実践に向けての考え方

- (1) 豊かな心と確かな学力を育む教育の推進  
いのちを大切に作る心や創造力を育むとともに、基礎的・基本的な知識・技能の向上に向けて、学校での学習活動の充実を図ります。
- (2) 教育環境の整備  
少子化の進行などに伴う教育環境の変化に対応し、子ども達が楽しく学び、元気に学校生活を送れる環境を整備します。
- (3) 地域と連携した学校づくりの推進  
学校・家庭・地域が連携して子ども達によりよい教育環境を整備します。
- (4) 人材活用の推進  
専門的な知識・技能を有した人材を活用し、学習活動の充実を図ります。

## 市民の役割

地域の一員として、子どもの成長を支え、地域や学校との連携に努めます。

## 行政の役割

教育環境の整備とともに、豊かな心と確かな学力を身につけた子どもの育成に努めます。また、家庭・地域と連携して社会全体で子どもを育てる環境の整備に努めます。

\*1さわやか相談員

：児童・生徒の悩みや不安、ストレス等を解決・軽減させ、不登校の未然防止を図るため、各学校に配置された相談員。

\*2学校の適正規模適正配置の検討：子ども達がよりよい環境で教育を受けられるように、将来を見据えた学校の規模や配置を検討すること。

#### 4 主要事業

主要事業名	内 容
優先プロジェクト 龍ヶ崎教育市民会議の開催 新規	地域のみならず市内外から人材を登用して、教育に関する提言や実行支援などを行う市民会議を開催します。
学力の向上	本市独自に非常勤講師を活用した少人数指導やチームティーチング <sup>*1</sup> などにより、学力の向上を図ります。
学校図書 of 充実	学校図書館司書 <sup>*2</sup> の配置を継続し、読書環境や学習環境の充実を図ります。
小中学校の適正規模適正配置 新規	小中学校の適正規模適正配置に関する基本方針をもとに、保護者・地域との協議を進めます。
教育支援体制の充実	子育てに関する様々な課題にスピーディーに対応するため、教育支援体制の強化を図ります。
学校・家庭・地域連携による 特長的な教育環境の創出	11月の「龍ヶ崎教育月間」、11月5日の「龍ヶ崎教育の日」を中心に、市を挙げて教育環境向上に取り組む姿勢を内外に周知するとともに、学校・家庭・地域の連携のもとに教育関連事業を実施します。また、子ども会や青少年育成龍ヶ崎市民会議等と連携し、地域での取組を推進します。
龍・流連携事業 <sup>*3</sup> の拡大	流通経済大学との連携を強め、学習・生活指導、部活動等への支援を通じて小中学校の教育を充実させます。
特色ある学校づくり 新規	スポーツ選手や芸術家、地域の達人を講師に招いたり、地域の特性を活かした体験活動を実施するなど、特色ある学校づくりを進めます。

#### 5 数値目標

指 標 名	ベース値	目標値
1. 小中学校の教育内容・施設に満足している市民の割合(%) ※義務教育に関する市民の評価を見る指標	32.1	37.1
2. 小学校の不登校率(%) ※小学生の不登校の状況を見る指標	0.40	0.30
3. 中学校の不登校率(%) ※中学生の不登校の状況を見る指標	0.194	0.194
4. 学校図書の1人当たりの貸し出し冊数〔小学校〕(冊/年) ※小学校学校図書館の充実度を見る指標	43.8	50.0
5. 学校図書の1人当たりの貸し出し冊数〔中学校〕(冊/年) ※中学校学校図書館の充実度を見る指標	25.9	30.0

\*1 チームティーチング：[Team Teaching] 複数の教師が指導計画の作成、授業の実施、教育評価などに協力してあたること。

\*2 学校図書館司書：読みたい本を探したり、調べ物をしたりする児童・生徒をサポートする本のスペシャリスト。本市独自の事業として全小中学校に配置している。

\*3 龍・流連携事業：本市と流通経済大学との連携事業の略称。本市では、特色あるまちづくりを目指し、まちの知的資源である流通経済大学と協定（「龍ヶ崎市と流通経済大学との連携に関する協定書」平成16年）を結び、教育・文化、スポーツ、産業振興、人づくり・まちづくりの分野において相互に協力し様々な取組を行っている。